

【事業名】

鴨川におけるオオバナミズキンバイの駆除対策事業（京都府京都市）

【団体名】 京都府

事業の背景・目的

京都府では、平成29年頃より特定外来生物オオバナミズキンバイが鴨川において確認された。鴨川は市街地を流れるため、人々の生活に深く結びついており、また流域には琵琶湖の固有種や、かつて淀川水系に存在していた巨椋池の遺存種を含む固有性の高い生物相が形成されている。本種が増殖することで鴨川流域における人の生活や生態系への被害が顕在化する恐れがあるため本種の被害を未然に防ぐことを目的とした本事業を実施した。

事業の内容

鴨川におけるオオバナミズキンバイ生育状況把握及びそれに基づいた効果的・効率的な広域的対策を実施した。また、陸生化した群落に対して有効な駆除手法を検討し、試験的に実施した。

事業① オオバナミズキンバイ生育状況把握調査事業

- ・鴨川の群落毎に地点情報、面積、生育状態（陸生もしくは水生）等を調査した。



(写真) 鴨川のオオバナミズキンバイ生育状況

事業② オオバナミズキンバイ駆除事業

- ・陸生化した群落を駆除するため、試験的にジェットポンプの水流を使用した駆除手法を実施して有効性を検証した。



(写真) 駆除の様子と駆除した植物体

事業③ 市民団体等と協働した駆除活動事業

- ・住民に対して外来生物問題の普及啓発するため、地元市民団体等と協働による駆除活動を実施した。



(写真) 駆除活動の様子

得られた成果

これまでの調査によって、生育状況は年変動が大きいものの、オオバナミズキンバイが深く根付いていることが予想される箇所が明らかになった。今後はそのような地点を中心に重点的に対策を実施していきたい。

陸生化した群落に対しては、ジェットポンプの水圧を利用することで、効率よく駆除できることが確認できた。鴨川には陸生化した群落が多いため、同手法を用いて効果的に対処していくこととしたい。

市民団体等と協働した駆除活動を実施したところ、市民団体や事業者、大学生を含め102名が参加した。その結果については府ホームページでも公表した。